粕谷和夫の観察日記より。８月 31 日、裏高尾の日影林道を歩いているとタマアジサイの花が一番多く、クズやセンニンソウも目立ちます。ヌルデの花は地味ですが、この花も多いです。ヌルデの花にヤマザクラの枯葉が引っかかっていて、その葉が虫に食べられているところが微笑ましかったのでシャッターを切りました。

紅葉台  新聞

第２５９号
２０２６年
１１月７日
発行人：関谷　孝

八王子・日野カワセミ会 40 周年を記念して

八王子・日野カワセミ会は浅川流域及び谷地川、程久保川、大栗川の各流域（八王子市内、日野市内）の野鳥を観察する市民グループです。（会長　粕谷和夫）

会の目的は野鳥のウオッチングを楽しむこと、浅川流域等の野鳥の生息状況を調査記録すること、浅川流域等で野鳥が安心して棲める環境を作ることに協力することにあります。

主な活動は、探鳥会の開催、野鳥の分布調査や羽数のカウント、小中学生等に対する野鳥観察指導、巣箱架け活動等であり、その他、年数回浅川流域以外の場所へ遠出の探鳥会も開催しています。

今年はカワセミ会結成 40 周年を迎えます。そこで主な記念行事として下記のような取り組みをします。この機会にご友人と誘い合わせの上ご参加ください。



①　**企画展　１１月１８日（水）～２３日（月・祝）八王子北口・徒歩２分。オクトーレ八王子学園都市センターギャラリーホール１２階**にて開催されます。「写真」「絵画」「バードカービング」の作品が展示されますので野鳥に関心のある方は是非いらしてください！！会員の方たちが野鳥の魅力を紹介してくれます。

②　**「鳥に出会えるお散歩まっぷ」の配布。**

八王子の観察場所である多摩川・浅川・湯殿川のまっぷです。買い物や散歩のついでに足を延ばせるような身近な場所を選びました。高低差もなく小一時間ほど、体力や気分に合わせ気軽にお散歩しませんか。厳選した６つの場所を地図とイラストで紹介しました。この新聞と付録にして送りますのでご活用を。また、企画展では「鳥に出会えるお散歩まっぷ」を貰えます。お楽しみに！！



③　**記念講演会「カワセミ会発、世界行!」　～豪州一周探鳥の旅から野鳥の研究員まで繋がった道～**

谷田部佑氏　11 月２３日（月祝）13：40～14：45（受付１３：１５～）八王子市学園都市センター12 階第１セミナー室　入場無料。

谷田部さんは、八王子市内小学校の卒業生。何と不思議なご縁で、カワセミ会会員で同じ小学校を卒業した市村緑さんと SNS を通じて繋がりました。また、在校時にカワセミ会の野鳥観察会に参加し、粕谷会長などの指導を受けて、野鳥観察に目覚めました。明治大学農学部卒業後、豪州のワーキングホリデーの傍ら世界を旅しました。現在、NPO 法人バードリサーチ勤務。八王子・日野カワセミ会会員。なかなか聞くことのできない貴重なお話を聞くことが出来ます。　お聞き逃しなく！！

季節のたより（ナンバンギセル　2026 年８月）

今月は残暑厳しい初秋の頃、ススキの根元で花開くナンバンギセルです。添付の写真は 2022 年 8 月 31 日に八王子市片倉城跡公園の隣にある「つどいの森公園」で撮ったものです。　ナンバンギセルは日本全土の山野に生える１年生寄生植物で、ススキの他ミョウガ、サトウキビの根によく寄生します。寄生植物ですから葉緑素はありません。茎はごく短く、ほとんど地上に出ず、高さ 15～20cm の直立した茎のように見えるのは花の一部の「 花柄」でその先に淡紫色の花を横下向きにつけます。添付の写真で確認して下さい。

古くは「思い草」といい、うなだれるようにして花を咲かせる姿をたとえたもの。「万葉集」には「道の辺の尾花が下の思い草　今さらになどか物は思はむ」とあります。ススキ原の下に生えているナンバンギセルは何を思っているのだろうという意味で、万葉の頃からススキに寄生することが知られていたのですね。**ナンバンギセルは南蛮煙管と書き、花柄を含めた花の形が江戸時代に日本に居留したポルトガル人やスペイン人（南蛮人）が使う煙管に似ていたことからこの名になったと図鑑に書いてあります。**



もともと熱帯性植物でフィリピン、台湾などのサトウキビ畑に大発生して大きな被害を出したこともあり、日本でも陸稲やサトウキビの栽培地帯では害草として嫌われますが、こんな美しい花でも場所が変われば害を及ぼすことがあるのですね。　粕谷和夫

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

粕谷和夫の観察日記



９月３日、八王子・高月水田に９月の野鳥定期カウントに行ったら、**ヒガンバナ**が１輪だけでしたが、早くも開花していました。彼岸花の開花の目安となるのは、日平均気温が 25 度を下回る頃とされています。今年は未だ 25℃を下回る涼しさになっていません。「お前、少し早すぎるのではないの！」と話しかけたくなります。



少し専門的な話題で恐縮です。８月 31 日、日影林道を歩いているとシカに食べられたと思われる**タケニグサ**がありました（写真）。毒草のタケニグサはシカに最も食べられない筈なので、不思議に思いチャット GPT に聞いて見ました。回答は「兵庫県のシカ被害が激しい地域では他の草が無くなって来るとタケニグサが食べられる観察例がある」とのことでした。高尾山もシカの被害が年々深刻になっていることを実感します。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

粕谷和夫の観察日記より。８月 31 日、裏高尾の日影林道を歩いているとタマアジサイの花が一番多く、クズやセンニンソウも目立ちます。ヌルデの花は地味ですが、この花も多いです。ヌルデの花にヤマザクラの枯葉が引っかかっていて、その葉が虫に食べられているところが微笑ましかったのでシャッターを切りました。

「鳥に出会えるお散歩まっぷ」は、別紙にて送ります。ご活用ください。ご友人にも送って頂けましたら幸いです。



日野・八王子カワセミ会 HP より

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。